

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成 27 年 5 月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

# 目 次

## I 事後調査の概要

1. 調査概要	.....	I - 1
2. 工事の実施状況	.....	I - 3
3. 調査結果の概要	.....	I - 4

## II 事後調査結果

1. 大気質	.....	II - 1
2. 水質	.....	II - 9

## I 事後調査の概要

## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 27 年 5 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表-1 に、調査地点の位置は図-1 に示すとおりである。

表-1 事後調査の概要（平成 27 年 5 月）

### 埋立地周辺における調査

(1)大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	5月1日～31日	通年連続

(2)水質（一般項目）表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	5月14日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

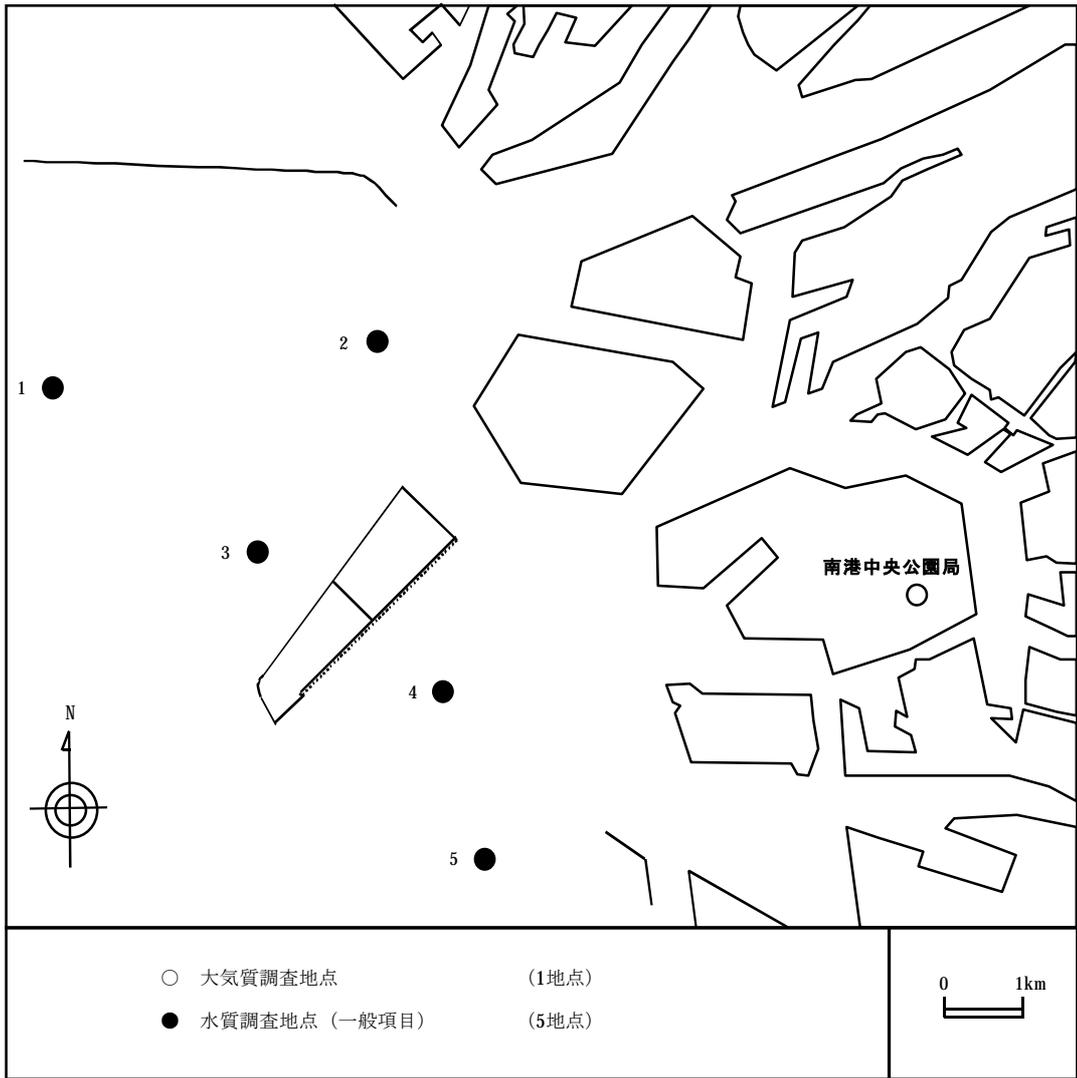
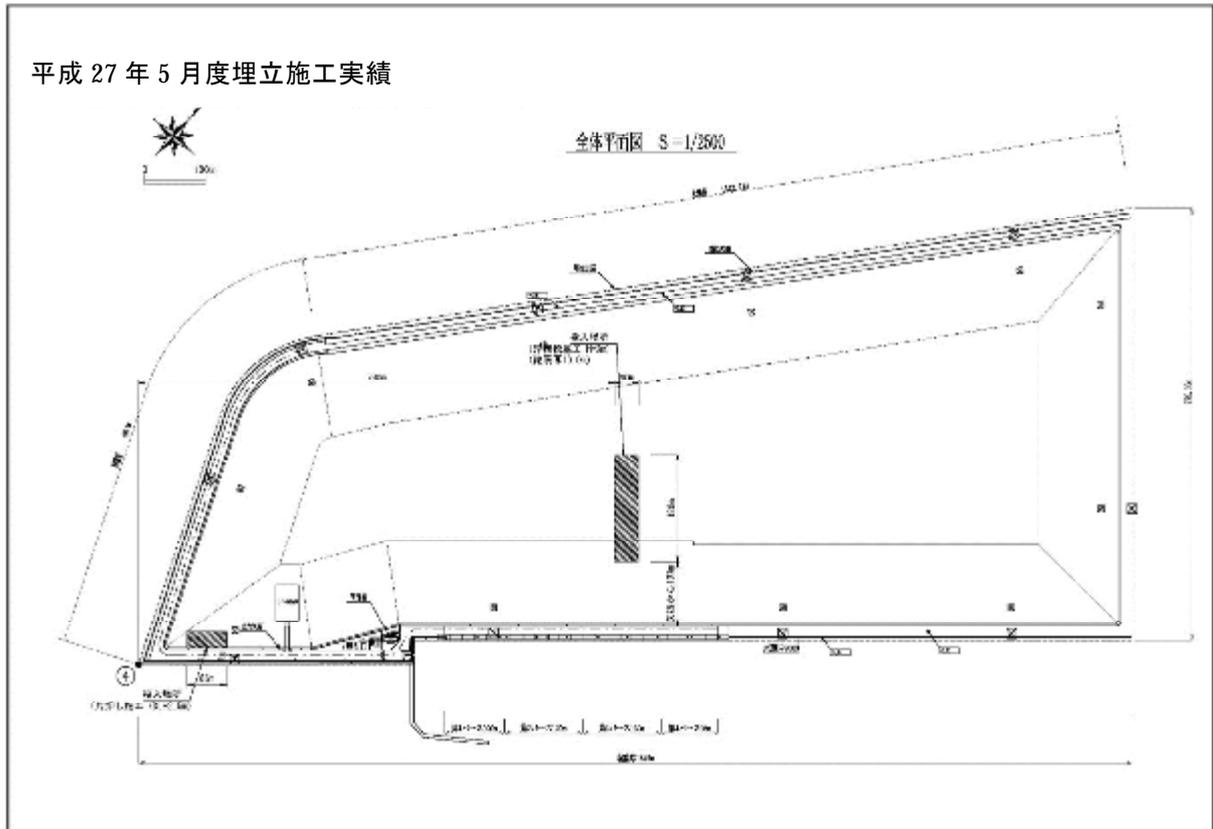


図-1 大気質、水質(一般項目)の調査地点 (平成 27 年 5 月)

## 2. 工事の実施状況

平成 27 年 5 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量(m <sup>3</sup> )	進捗率(%)
3,228,755	23.1

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (平成 27 年 5 月)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】  
二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.008ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.013ppm、1時間値の最高値は 0.028ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】  
二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.025ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.043ppm であり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】  
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.032mg/m<sup>3</sup> であった。また、日平均値の最高値は 0.045mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は 0.079mg/m<sup>3</sup> であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質（一般項目） [水質様式第1号]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.4～8.5、下層で 7.9～8.1 の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値の範囲を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (8.5)、調査地点 2 (8.4)、調査地点 3 (8.4)、調査地点 4 (8.4)、調査地点 5 (8.5) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）では上層で 7.7～8.6 の範囲にあり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 4.0～5.5mg/L、下層で 2.0～2.2mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (4.6mg/L)、調査地点 2 (5.5mg/L)、調査地点 3 (4.0mg/L)、調査地点 4 (4.4mg/L)、調査地点 5 (4.4mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、調査地点 2 の上層でこの範囲を若干上回っていたが、概ね同程度であることから本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値 : 5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 12~14mg/L、下層で 4.1~6.6mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では調査地点 2、5 において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 2 (4.1mg/L)、調査地点 5 (4.5 mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6 ~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.60~1.2mg/L、下層で 0.23~0.39mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 1、2、3、4 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.69mg/L)、調査地点 2 (1.2mg/L)、調査地点 3 (0.62mg/L)、調査地点 4 (0.82mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.056~0.11mg/L、下層で 0.023~0.067mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では調査地点 2、5 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.069mg/L)、調査地点 2 (0.11mg/L)、調査地点 3 (0.059mg/L)、調査地点 4 (0.080mg/L)、調査地点 5 (0.056mg/L)、下層における調査地点 2 (0.067mg/L)、調査地点 5 (0.058mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25 mg/L であり、上層、下層共にこの範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

### 6) 濁度

濁度は上層で 4.1~9.2 度(カリン)、下層で 1.0~3.5 度(カリン)の範囲であった。

### 7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 2~4mg/L、下層で 1~4mg/L の範囲であった。

### 8) クロコシル a

クロコシル a は上層で 10~20 μg/L、下層で 1.1~3.6 μg/L の範囲であった。

## 《 参 考 》

### ■環境基準値等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が <b>0.04ppm</b> 以下であり、かつ、 1 時間値が <b>0.1ppm</b> 以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1 時間値の 1 日平均値が <b>0.04ppm</b> から <b>0.06ppm</b> までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が <b>0.10mg/m<sup>3</sup></b> 以下であり、かつ、 1 時間値が <b>0.20mg/m<sup>3</sup></b> 以下であること。

##### (2) 水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	<b>7.8</b> 以上 <b>8.3</b> 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	<b>3mg/L</b> 以下
	溶存酸素量 (DO)	<b>5mg/L</b> 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	<b>0.6mg/L</b> 以下
	全磷 (T-P)	<b>0.05mg/L</b> 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75% 水質値**」を用いるものとする。

**75%水質値**・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値**（**0.75×n** 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項 目	区 分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 1～5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小～最大を示す。

## II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [平成27年5月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	2
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	738
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成27年5月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (金)	0.007	0.010
	2 (土)	0.007	0.010
	3 (日)	0.007	0.011
	4 (月)	0.005	0.010
	5 (火)	0.008	0.017
	6 (水)	0.006	0.013
	7 (木)	0.008	0.017
	8 (金)	0.009	0.016
	9 (土)	0.011	0.018
	10 (日)	0.006	0.010
別	11 (月)	0.008	0.019
	12 (火)	0.005	0.008
	13 (水)	0.009	0.015
	14 (木)	0.009	0.013
	15 (金)	0.007	0.012
	16 (土)	0.004	0.008
	17 (日)	0.008	0.015
	18 (月)	0.008	0.015
	19 (火)	0.007	0.021
	20 (水)	0.007	0.016
値	21 (木)	0.007	0.019
	22 (金)	0.008	0.013
	23 (土)	0.009	0.013
	24 (日)	0.008	0.020
	25 (月)	0.011	0.020
	26 (火)	0.012	0.020
	27 (水)	0.013	0.028
	28 (木)	0.010	0.015
	29 (金)	0.005	0.012
	30 (土)	0.009	0.014
	31 (日)	0.005	0.009
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		741	
月平均値 (ppm)		0.008	
日平均値の最高値 (ppm)		0.013	
1時間値の最高値 (ppm)		0.028	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
 その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）  
 は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成27年5月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (金)	0.006	0.046
	2 (土)	0.003	0.026
	3 (日)	0.001	0.003
	4 (月)	0.001	0.004
	5 (火)	0.001	0.001
	6 (水)	0.001	0.002
	7 (木)	0.002	0.007
	8 (金)	0.003	0.009
	9 (土)	0.007	0.033
	10 (日)	0.000	0.001
別	11 (月)	0.002	0.007
	12 (火)	0.008	0.031
	13 (水)	0.003	0.023
	14 (木)	0.009	0.106
	15 (金)	0.008	0.039
	16 (土)	0.004	0.034
	17 (日)	0.001	0.002
	18 (月)	0.007	0.038
	19 (火)	0.007	0.044
	20 (水)	0.005	0.028
値	21 (木)	0.002	0.008
	22 (金)	0.006	0.035
	23 (土)	0.002	0.010
	24 (日)	0.001	0.006
	25 (月)	0.003	0.010
	26 (火)	0.003	0.012
	27 (水)	0.013	0.093
	28 (木)	0.004	0.032
	29 (金)	0.001	0.003
	30 (土)	0.001	0.005
	31 (日)	0.000	0.001
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.013	
1時間値の最高値 (ppm)		0.106	

- 注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
 その場合、日平均値の集計の対象としない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）  
 は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [平成27年5月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)	
日	1 (金)	0.030	0.055	
	2 (土)	0.021	0.049	
	3 (日)	0.015	0.027	
	4 (月)	0.014	0.025	
	5 (火)	0.015	0.044	
	別	6 (水)	0.014	0.029
		7 (木)	0.024	0.045
		8 (金)	0.030	0.054
		9 (土)	0.041	0.061
		10 (日)	0.008	0.013
		11 (月)	0.028	0.061
		12 (火)	0.032	0.063
		13 (水)	0.025	0.050
		14 (木)	0.038	0.063
		15 (金)	0.035	0.052
値	16 (土)	0.020	0.038	
	17 (日)	0.019	0.035	
	18 (月)	0.034	0.050	
	19 (火)	0.032	0.058	
	20 (水)	0.025	0.046	
	21 (木)	0.023	0.059	
	22 (金)	0.028	0.045	
	23 (土)	0.025	0.039	
	24 (日)	0.014	0.043	
	25 (月)	0.033	0.055	
	26 (火)	0.033	0.056	
	27 (水)	0.043	0.070	
	28 (木)	0.037	0.064	
	29 (金)	0.017	0.043	
	30 (土)	0.021	0.033	
	31 (日)	0.008	0.014	
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		740		
月平均値 (ppm)		0.025		
日平均値の最高値 (ppm)		0.043		
1時間値の最高値 (ppm)		0.070		
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0		
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0		
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0		
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		2		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。

その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。



浮遊粒子状物質測定結果 [平成 27 年 5 月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )	1 時間値の 最高値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )
日	1 (金)	0.030	0.054
	2 (土)	0.033	0.051
	3 (日)	0.024	0.055
	4 (月)	0.024	0.043
	5 (火)	0.034	0.055
	6 (水)	0.035	0.051
	7 (木)	0.030	0.045
	8 (金)	0.037	0.064
	9 (土)	0.045	0.068
	10 (日)	0.033	0.061
別	11 (月)	0.026	0.047
	12 (火)	0.035	0.069
	13 (水)	0.041	0.060
	14 (木)	0.045	0.073
	15 (金)	0.044	0.079
	16 (土)	0.035	0.062
	17 (日)	0.031	0.051
	18 (月)	0.034	0.055
	19 (火)	0.027	0.049
	20 (水)	0.028	0.041
値	21 (木)	0.021	0.032
	22 (金)	0.024	0.036
	23 (土)	0.025	0.036
	24 (日)	0.019	0.036
	25 (月)	0.033	0.051
	26 (火)	0.034	0.053
	27 (水)	0.040	0.060
	28 (木)	0.044	0.061
	29 (金)	0.027	0.046
	30 (土)	0.033	0.058
	31 (日)	0.030	0.066
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		738	
月平均値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )		0.032	
日平均値の最高値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )		0.045	
1時間値の最高値 ( $\text{mg}/\text{m}^3$ )		0.079	
1時間値が $0.20\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。  
その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）  
は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成27年5月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向  16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (金)	0.7	1.6	W, WSW	CALM
	2 (土)	0.8	2.5	WSW	WSW, WNW, CALM
	3 (日)	0.7	1.6	E	CALM
	4 (月)	1.0	2.2	NNE, N	ENE
	5 (火)	0.8	2.0	WSW	WSW
	6 (水)	1.0	2.4	W	WSW
	7 (木)	0.9	2.2	WSW	WNW
	8 (金)	0.8	2.1	WSW	CALM
	9 (土)	0.5	1.2	SW	CALM
	10 (日)	1.1	2.3	NNE	NNE
別	11 (月)	0.8	1.8	WNW	N
	12 (火)	1.1	2.7	WSW	ESE
	13 (水)	1.0	1.8	WSW	WSW
	14 (木)	0.7	1.7	WSW	ENE, E, WNW, CALM
	15 (金)	0.8	2.3	W	WNW
	16 (土)	0.7	1.3	WNW, NNE	NNE
	17 (日)	0.7	1.3	W	W
	18 (月)	0.7	1.6	WNW, W	NW, NNW, CALM
	19 (火)	0.7	1.3	NNE	WSW
	20 (水)	1.1	2.8	NNE	N
値	21 (木)	0.9	2.3	WSW	WSW
	22 (金)	0.7	2.0	W	WSW
	23 (土)	0.5	1.0	WSW, W	CALM
	24 (日)	0.8	1.9	WSW	WSW, WNW
	25 (月)	0.8	1.8	WSW	WSW, CALM
	26 (火)	0.8	1.9	SW	WSW
	27 (水)	0.8	2.2	WSW	WSW
	28 (木)	0.9	2.5	WSW	ENE, WSW, WNW
	29 (金)	1.7	2.9	ENE, ENE	ENE
	30 (土)	0.9	2.0	WSW	WSW
	31 (日)	1.2	2.3	N	NNE, N
測定時間（時間）		744			
月平均風速（m/s）		0.9			
月最大風速（m/s）		2.9			
月最多風向（16方位）		WSW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成27年5月分]

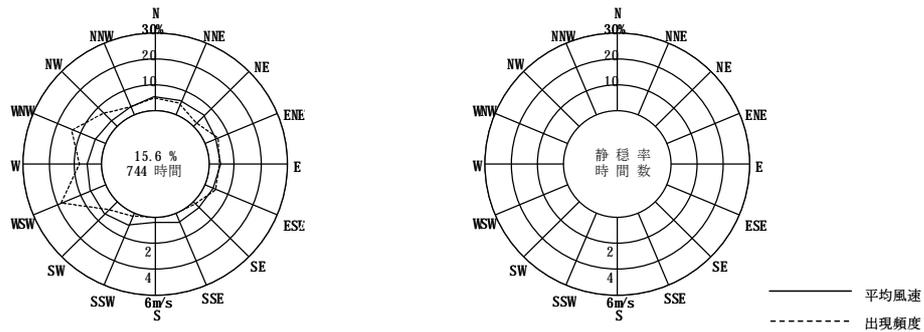
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WWW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	36	17	44	34	37	10	3	1	10	32	133	59	98	51	26	37	116	744
頻度 (%)	4.8	2.3	5.9	4.6	5.0	1.3	0.4	0.1	1.3	4.3	17.9	7.9	13.2	6.9	3.5	5.0	15.6	-
平均風速 (m/s)	1.2	1.2	1.0	1.0	0.8	0.7	0.8	0.4	1.0	1.2	1.2	1.0	0.8	0.6	0.7	1.1	0.2	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局:南港中央公園局

風向風速計高さ:14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成27年5月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成27年5月分]

調査日：平成27年5月14日

項目	調査点					最小値	～	最大値	平均値
	1	2	3	4	5				
時刻	12:10	12:29	11:51	9:08	8:50	—			—
透明度 [m]	1.8	1.5	2.0	1.9	1.9	1.5	～	2.0	1.8
水温 [°C]	18.8	18.2	18.2	18.4	17.8	17.8	～	18.8	18.3
	15.8	14.6	15.8	15.6	15.4	14.6	～	15.8	15.4
塩分 [—]	26.27	20.59	25.84	25.42	28.06	20.59	～	28.06	25.24
	32.10	31.64	32.08	32.01	31.70	31.64	～	32.10	31.91
濁度 [度(カリン)]	5.8	9.2	4.1	6.1	5.1	4.1	～	9.2	6.1
	2.4	3.5	1.0	1.8	1.8	1.0	～	3.5	2.1
浮遊物質 (SS) [mg/L]	4	4	2	3	3	2	～	4	3
	3	4	1	2	1	1	～	4	2
水素イオン濃度 (pH) [—]	8.5	8.4	8.4	8.4	8.5	8.4	～	8.5	-
	8.1	7.9	8.1	8.1	8.0	7.9	～	8.1	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	4.6	5.5	4.0	4.4	4.4	4.0	～	5.5	4.6
	2.0	2.2	2.1	2.0	2.2	2.0	～	2.2	2.1
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	14	14	12	12	12	～	14	13
	飽和度 [%]	5.7	4.1	6.6	5.9	4.5	4.1	～	6.6
全窒素 (T-N) [mg/L]	176	168	149	149	150	149	～	176	158
	70	49	81	72	55	49	～	81	65
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.69	1.2	0.62	0.82	0.60	0.60	～	1.2	0.79
	0.28	0.39	0.23	0.29	0.37	0.23	～	0.39	0.31
全磷 (T-P) [mg/L]	0.069	0.11	0.059	0.080	0.056	0.056	～	0.11	0.075
	0.035	0.067	0.023	0.034	0.058	0.023	～	0.067	0.043
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	16	20	10	18	16	10	～	20	16
	1.1	3.6	1.1	1.2	2.8	1.1	～	3.6	2.0

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------